



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉雄 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 76名 出席 53名 出席率 81.54% 前回出席率 76.81% 修正出席 60名 確定出席率 86.96%

ゲストスピーチ

姉妹都市 N B 市を訪ねて



この度、去る8月5日～8月13日まで、第2回鶴岡市高校生親善使節団を引率して、鶴岡市の姉妹都市ニュー・ブランズウィック市を訪問する機会を与えていただきました。

8月5日は成田泊。8月6日と7日がニュー・ブランズウィック市滞在（ホームステイ）、8月8日と9日はニューヨーク市滞在、8月10日はワシントン市泊、8月11日は機中の人となり、8月12日成田着、8月13日の早朝に帰鶴という忙しい日程でありました。

私たちがニュー・ブランズウィック市のロータリークラブの Luncheon にお招きを頂いたのは8月7日のことでした。普通はもっと大きな別の建物を使用されている、ということでしたが、当日は夏のバカンス中で閉鎖されておりました

そのため、当日会場としてあてられたのは Rutgers Alumni Faculty Club という、名称から判断すると、ラトガース大学卒業者の方々が交流の場として用いられている施設というところでしょうか、しょうやかな建物でした。

2階に上がると、早くも多くのロータリアンの方が手に手にアペリティフ（アピタイザー）を持ち、思い思いのグループで挨拶を交わしているところでした。

使節団は6名の高校生という非常に若い集団であるにも関わらず、出席者のすべての方々が大きな関心を払って下さり、ていちょうなもてなしを受けました。一人一人の名前もみんなの前で紹介されました。

着席後、半券が一人一人に配られ、「FIFTY-

訪問使節団団長 飯野 徹さん

FIFTY」という名称のくじを楽しみました。使節団の一人がくじをひきましたが、当選者が地元の方でよかったと思いました。昼食会の楽しいひとときのプレゼントの他に、くじの当選者までも使節団のメンバーの中から出たら、大変恐縮してしまっただけでしようから。

とにかく私たちにとって、とてもリラックスして楽しく過ごせたひとときでした。その場で、こちらのロータリークラブからお預りしていったバナーを御披露方々、直接先方の会長さんにお渡しできただけではなく、メッセージも全ロータリアンの前で披露することができました。メッセージの内容に紹介のありました前ガバナーでいらっしゃいました石黒先生のお孫さんからメッセージの前段を、後段は私の口から読み上げを行ないました。暖かい拍手でメッセージの披露とバナーの贈呈を終え、使節団一人一人に記念品をいただきました。向こうの建物や風景をあしらったギフトカードで、大変すてきなプレゼントを頂戴しました。

スピーチの中では、現在関心の的となっている、「カルチャーセンター」創立の動きが話題の中心となっておりました。次にその必要性の根拠として挙げられていたことを少し紹介します。

1つは、近くにニューヨークやワシントンのような大都市をひかえていて、旅行者やニュー・ブランズウィック市の訪問者がここを滞在の土地に選んでくれる魅力に欠けていること。

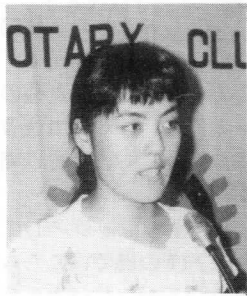
2つめは、せっかく良いバイオリンやその他のコンサートを催しても、演奏者も観客も、適当な設備がないため、その内容のすばらしさほどには、音楽会全体から満足を得ることができないという状況にあること。例えば、エアコンの設備が必要。観客を十分に収容できる施設が必要。バイオリン等を床に置く時でも、デリケートな楽器であるため、演奏者

庄内空港の建設を推進しましょう

は野外のステージ等は快く思っていないことなど…。

3つめは、魅力ある町づくりのためにはニュー・ブランズウィック高校の合唱団、なかでも Vocal Dynamics のこの町での、あるいは国外での鶴岡や福井の成功が語っているように、音楽による感動や、芸術の力で築かれた友情や交流の和は何物にもまさること。

4つめは、この町の子どもたちに、ニューヨークに行かなくても、小さい時から本当に良い芸術に親しませるためにも、カルチャーセンターの創立は大変意義深いことを主張されておりました。



2年前の親善訪問団に続きまして、私を含め6名の女子高校生が、この夏姉妹都市NB市を訪問してきました。

私達が、実際NB市に滞在できたのは、わずか3日間でした。その中の2日目の昼食で、私達はNB市のロータリークラブを訪ねました。私達が、例会の行なわれるクラブに到着したところには、もう大勢のロータリアンの皆さんが集まっていました。昼食が始まると、私達の紹介、山口会長さんのメッセージ読み上げ（実は、私がたどたどしい発音で読んだのですけれども）、会長さんにバナーと共にお渡ししました。その後は、ロータリークラブの活動についての話に移ったのですが、当たり前ですが、英語でディスカッションしていたので、私達には、話は全て正確にはつかめませんでした。けれども、このNB市にカルチャーセンターをつくるという計画について話し合われているのだなあとということは分かりました。私が、なかでも一番印象深く思ったことは、その議題について中心になって話を進めているのが女性だった、ということでした。私は、祖父がR.Cに入っているの、家族会などには時々顔を出していました。その時、中心になっているのは男性ばかりでしたし、R.Cには男性しか入れないと聞いていたので、NB市のR.Cを訪ねて、とてもびっくりしました。その女性は、後で聞いたところによりますと、会長さんの奥さまということでした。それにしてもずい分積極的な方だと思いました。こういう違いはどこからくるのだろうか、と思いました。

次に、NB市について、少し話したいと思いますが、第一印象は、緑が多いということでした。緑が多い、ということならば、鶴岡だってそうだという

翌日、ハイアットホテルでの朝食の時も、カルチャーセンター創立のことが、市の当局者の口から話題にのせられました。

市の関係者の方々もロータリアンの方々も、今一様にカルチャーセンター創立のことを真剣に考えておられることが、痛いほど伝わって参りました。

鶴岡ロータリークラブ並びにニュー・ブランズウィック・ロータリークラブの皆様の暖かい御配慮により、私たちが使節団一同にこの様な貴重な、そして楽しく思い出多い体験の機会を与えて下さいましたことに、心からの感謝とお礼の言葉を申し上げます。

訪問使節団員 石黒聡子さん

ことになりますが、NB市について言いますと、中途半端でない緑の多さとも言うのでしょうか。例えば、私がホームステイしたお家は、一軒家でしたが、そのお家の裏庭はずーっと、隣りの家、そのまた隣りの家と、芝生や木が続いているのでした。そして、朝は、そこをうさぎが走り、夜は蛍が飛んでいるという、日本の住宅街では信じられないような光景がありました。そして、そこに住む人々も、気さくで、陽気で、親切で、長旅で疲れきっていた私達を、嫌な顔一つせずに、暖かく迎えてくれました。とても有難い事だと思えます。

ホームステイ先では、近くであった農業のフェアとか、スーパーマーケットにつれてってもらったり、夜、お庭でパーティーをしてくれたり、それから、思わぬプレゼントをもらったりと、2泊3日のホームステイでは、多すぎるくらいの思い出ができました。ホームステイ先を出る時には、NYになんか行きたくない、ずっとNBにいたい、と思わず涙ぐんだりする人までいたほどでした。

その後の日程は、ずっと観光ばかりで、楽しかったけれども、実際に人としゃべったりする機会がなかったのも、残念でした。

最後に、私自身が感じたことを書きたいと思えます。この鶴岡市が、鶴岡R.Cをきっかけに、NB市と姉妹都市盟約を結んでいる事に、私はとても感謝しています。この訪問によって、私は、前の私とは少しは違う人間になれたと思えます。具体的に、どこがどう変わったか、今、自分でも分らないのですが、たとえわずかの期間でも、他の国を訪ね、違う環境、違う考えに触れたことは、これからの自分の人生に、いろんな意味でプラスになり、きっかけになることだと、私は信じています。多分、他の5人もそう思っていると思えます。そして、これからは私達が率先して、国際交流を助け、すすめていく人間になりたいと思っています。

会報記事の補足

三井 徹君

老令のせいと旅行ばけのために、会報原稿の処理を間違えまして、委員会にご迷惑をかけました。おわび申し上げます。尻切れとんぼになりましたので推敲して補足させていただきます。

☒

産業…水産資源はあるが、主なものは観光であり、近年急速にアメリカの人々のバカンスの場として脚光を浴びてきています。空港設備はよく、きれいである。空港ビルのロビーにエリザベス女王の肖像画が美しく、大きく掲げられていました。

珊瑚礁をめぐらした美しい海、島の緑と花が鮮やかで、天然の良港があり、軍事基地として重要との事でした。カリブ海周遊の大型観光船(25,000トン)が定期的に訪れ、クイーンエリザベス二世号も寄港していました。

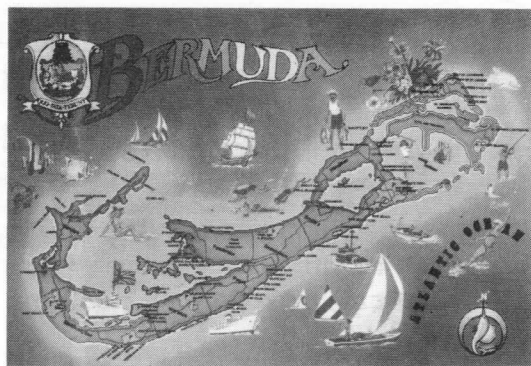
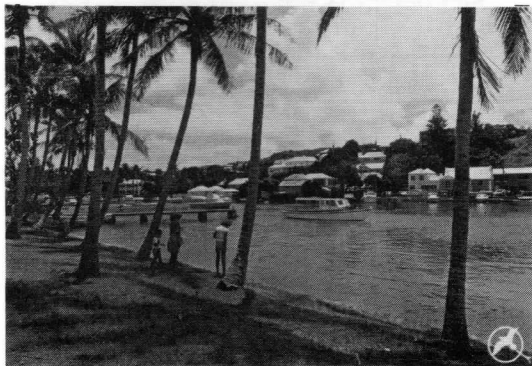
ホテルは主として家族旅行向けに出来ていて、建物は1～2階建てで、2～3戸ずつ分散し、キッチン付になっている。2食付で1万円内外で、静かで直射日光は暑いですが、常に微風が吹いていて、涼しく快適でした。

新婚旅行には最適の条件で、新婚の女優の水沢アキさん夫妻が丁度偶然に同じホテルに泊っていて、親しく話したり、サインをくれたりしたことも面白かった。

ハミルトンの街でのショッピングは、英国製品が主役で、円高のためか、比較的よい買物が出来るようでした。

人情・風俗…原住民というものはいなかったの、英国人が移住開拓した。而して英国風になっている。黒人は開拓のときに連れてきているので少数、よく働いている。

就学率は100%で、高校は10校余、大学1つとい



うように、教育はよく行われ、教養程度も高い。治安もよく、女王様のお国柄がうかがえました。

気候に適したバミューダ・ショーツと半袖シャツ、ストッキング、バミューダ・ハットのスタイルは世界的に有名であり、これにネクタイをつけ、上着をはおれば、フォーマルなドレスアップである。

ホテルのレストランでも、夕食(ディナー)は週のうち3日はフォーマルなスタイルをすることになっていて、夕陽Sunsetを眺めながら、食前酒から始まって、夜9時～10時まで悠々と食事を楽しむのは一興という処。日替のメニューにジョークを書いた紙片が入っているのも面白い。

バミューダ島は、今後安心してバカンスを楽しめる処として発展して行くことと思う。

会長報告

山口篤之助君

1. 当クラブにおいて、9月上旬にアメリカ・テネシー州西部第676地区より研究グループ交換G.S.Eの受入れが行われますので、R.IニュースよりG.S.Eについて申し上げます。

1986～1987年度は204件の研究グループ交換(G.S.E)補助金が授与されました。これは新記録であります。このため1965年のプログラム発足以来、補助金の総数は2,308件になりました。約14,000人の青年実業人及び専門職業人がこのプログラムに参加しました。この費用は米貨1,600万ドルにのぼります。

本ロータリー年度より、異なる国の2地区間のG.S.Eチームは、毎年交換出来る事になりました。この為、各ロータリー年度中のプログラムが大いに増える事になりましょう。(これまで、2地区間の交換は隔年制でした)

全員女性のチームを組織することも出来るという事にも注意を払って下さい。

興味深い事をお知らせします。試験的プロジェ

- クトとして第791地区(米国マサチューセッツ州)と、非ロータリー国のユーゴスラビア間の修正研究グループ交換が進められているところです。
2. 九里ガバナーより暑中見舞いのハガキが届いています。

暑中お見舞申し上げます。

お世話になった日々をなつかしく追想しています。

10月の年次大会には是非御越し下さい。

3. ニュー・ブランズウィック・ロータリークラブよりのお手紙をご紹介します。

1986年度8月6日の貴方の親切 ありがとうございます。

8月7日の我々の例会に鶴岡からの使節団を迎えることが出来まして喜んでおります。彼等もまた喜んで帰ったことと思います。

我々も、両クラブ・両市の親睦が今後共発展することを祈っています。

クラブの皆様、私のクラブからよろしくと伝えて下さい。

会長 フランク・M・コー

4. 飯野徹さんをご紹介します。市教育委員会指導主事であり、先般、鶴岡市高校生姉妹都市訪問使節団一行8名の団長として、姉妹都市でありますニュー・ブランズウィック市へ国際親善のために、8月5日より8月13日まで行ってきました。その時に、当クラブと姉妹クラブでありますニュー・ブランズウィックのR.Cへメッセージとバナーのお届けをお願いしました。そのお土産話のスピーチをお頼みしました処、お忙しい中を心よくご承諾下さっておいで願いました。

又、P.G石黒慶之助さんのお孫さんであります石黒聡子さんをご紹介します。聡子さんは鶴南校2年に在学中で、訪問使節団の一員として元気に帰国されました。ご静聴下さい。

幹事報告

松田士郎君

1. ロータリー適用相場変更のお知らせ

9月1日より156円(現行166円)となります。

1. 記念誌到着のお知らせ

指宿R.C創立20周年記念誌

1. 会報到着のお知らせ

酒田R.C、酒田東R.C

1. 緊急理事会開催のお知らせ

本日、例会終了後、例会場にて行います。

議題 G.S.Eの受入れについて

1. 前田巖氏(酒田)が19日朝、肝硬変で死亡されました。

1. I.G.F、年次大会の参加者募集

各会員はどちらかに是非御参加下さい。

委員会報告

プログラム委員会

飯野準治君

今日6時から、中江さん(中国飯店)において、プログラム委員会とS.A.Aと合同の打合せ会を開催しますので、会長も参加されますので、広く皆様より御参加していただき、色々なお話し、情報をお寄せいただき、話し合いをしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

スマイル

今日は残念ですがありません。

ゲスト

NB市訪問使節団団長

市教育委員会指導主事 飯野 徹氏

NB市訪問使節団員

鶴岡南高等学校2年 石黒 聡子 さん

ビジター

鶴岡西R.C 長南朋養君・児玉光弥君

三浦正志君・野口 弥君

瀬尾助三郎君

立川R.C 滝 禅源君